

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第 148 号

発行責任者：横井 正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2018年8月20日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年 2 回発行

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

—主な内容—

- (1) 前半期の公演から (寄稿)
- (2) 子どもたちの感想
- (3) 第20回通常総会の報告
- (4) 公演計画(8月以降)ほか



子どもたちの“ぶち合わせ太鼓”で開幕!!



学校公演の様子…元気な笑顔をありがとう!



福祉施設の“夏まつり”で…



雄大な斜里岳をバックにして



松前神楽の指導を仰ぐ「尻岸内八幡神社」

暑中お見舞い

申し上げます。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

この度の西日本を中心とした豪雨災害により、犠牲となられた方々へのご冥福をお祈り致しますと共に、被災された皆様の日常が、いち早く元の状態に戻りますことを心より願っております。

今年度の「こぶし座」は、「特別事業」①JR東日本からの再依頼で実施する『四季島』のツアー客へ向けての演奏と、②復興支援・交流の集い「野田村公演」を計画致しました。

JR「四季島」ツアー客に向けての演奏は、昨年度に引き続いて継続実施されるものです。今年度は、北海道命名一五〇年：“アイヌの歌や踊り”を演じ、観て頂くことの意味を一層深く捉え行っています。毎回、定員34名の皆さんにご覧頂いておりますが、今年は、海外からの個人や団体のお客様が参加している点が特徴です。

また、「野田村公演」については、現在、先方との調整中ですが、「16年に実施した「山根神楽」の感動を胸に、楽しく、そして意義深い交流を実現させたいと考えております。

なお、前半期の活動は、特別公演「『四季島』と併せ、子どもたち向けの小・中学校公演が柱の一つとなっております。特に今期の学校公演は、北海道教育委員会が主管する「北海道巡回小劇場」での事業実施の他、斜里町を始め各自治体の教育委員会からの依頼が目立ち、伊達市では九百名にも及ぶ中学生の皆さんに鑑賞してもらう機会にも恵まれました。

*

各地では連日の猛暑が続いた暑い夏、八月…。

市井の人々が願う「平和」への祈りもまた、この暑い八月に熱を帯びます。

「平和」であるからこそできる、私たちの仕事「こぶし座」。公演部は、秋からの一般公演新企画・女性ユニット「ひめこぶし」の稽古に挑んでいます。

後半期からは、保育園公演や来期に向けての公演依頼(営業活動)も加わります。後援会員の皆さんはじめ、各地の支持者の皆様のご支援・ご協力を、よろしくお願致します。

つい先日、大雪山系黒岳で初雪!信じられない異常気象…。体調管理には充分お気をつけ下さい。どうぞ、お元気で!!

前半期の公演から…

今年度も特別事業の実施が4月からスタート…。前半期は毎週実施の「四季島」との日程を調整し、ハードスケジュールで学校公演に走り回りました。学校公演では数少ないホールでの開催となった、斜里町教育委員会の高木さんに寄稿して頂きましたので紹介します。

小学校芸術鑑賞会

を担当して

斜里町公民館
社会教育 ゆめホール知床
指導員 高木ゆかり

斜里町では舞台機能をもつ公民館ゆめホール知床ができたことを機に、小学生の芸術鑑賞事業を、ホールにおける舞台鑑賞と、演者が学校を訪問しコンサートをする「スクールコンサート」の2本事業を続けてきました。主催は先生方の実行委員会形式をとり私は事務局を担います。



子ども達と一緒に踊る先生も楽しそう…。

私とこぶし座さんの出会いは、その前者による鑑賞会で

平成14年にさかのぼります。以来、小学校公演を2回、さらに主催者をかえて、29年2月子ども芸術フェスティバルのゲスト公演、翌年2月中学校公演に来町いただき、すっかりこぶし座づいたこの2年、距離感がぐっと縮まった気がします。特に2月公演は北海道の端から端の真冬移動のため道中を心配したもので



ホールスタッフのバックアップもあって、とってもステキな舞台になりました。

今年10年ぶりに、こぶし座さんに小学校公演をしていたいただきました。折りしも北海道と名づけられて150年。その開拓と近代化、一方で同化政策により苦悩したアイヌ民族の心と歴史を知り、あらためて今自分たちが生きる北海道について考えています。おそらく学校では例年の授業にはないことが話題になり学んでいることでしょう。

で情報は容易に得られ、見た気が、知った気になるものです。しかし、空気を伴って感じる感覚は画面を通しては起こりません。こぶし座さんの公演には演じ手からエネルギーが伝わります。楽しさも、緊張も、恐怖も、空気をともなうて子どもたちに響いていくものでしょう。それがあってこそ心に残るのだと思います。公演中、弓を射る先を見つめた子どもたち、獅子に泣き出した子、逆に大喜びの子、公演後、ロビーを「ちゃびーちゃ、ちゃびーちゃ」と飛び跳ねた子。皆、心が動いたにちがいません。

*

事後学習でアイヌ伝承の絵本を読んでみますと言われた先生、調べ学習のきっかけになりますとおっしゃった先生。こぶし座公演は、終えてなおお広がりがある舞台です。

他地域の学校公演

《概要》

斜里町以降、3市町終了の会場でも夏を乗り切るパワーをもらっています!!

・6月29日(金)

斜里町：ゆめホール知床
児童(約六〇〇名)2庁

※昨年の二月からの期間に、幼児・生徒・児童と、全町の子どもたち向けに公演したことがあった。

・7月11日(水)

弟子屈町：弟子屈小学校
児童(約三〇〇名)1庁

※教育委の方からも、子どもたちもノリノリで楽しい公演内容だったと感想を頂いた。

・7月19日(木)

伊達市：歴史の柱カネーセンター
生徒(約九〇〇名)1庁

※これだけの中学生が集まると、その熱気は半端無い!! 充実した舞台作りの為に会場スタッフの惜しみないサポートには心から感激した。

・7月20日(金)

北見市常呂町：常呂小学校
児童(一五〇名)1庁

※伊達市公演を終えてからの移動は、実に約6時間…。常呂町到着は午前〇時近く。翌朝の準備開始は朝6時半。それでも、元気いっぱいの子

どもたちの笑顔に癒やされ、後半期からの力を充填した。

第20回「通常総会」開かれる。

北海道・命名一五〇年。

北の大地に根ざして、更なる峰への前進を…。

・新企画「ひめこぶし」の世界への挑戦!!

さる、四月二十九日(日)

「第二〇回通常総会」が行われました。社員総数十七名、出席数十四名。横井理事長の挨拶の後、開会となりました。

*

第一号議案「二〇一七年度事業報告」では、特別事業

①JR東日本「四季島」ツアー客への「アイヌの歌や踊り」の演奏と、②台湾での「函館物産展」でのイベント演奏についてと、一般公演など百四十三回(二二、二九九)の公演・講座を行ったこと、また毎年実施の函館市アウトリーチ事業―講師活動のことなどが報告されました。

第二号議案「二〇一七年度収支決算報告」では、当初の予算を達成できなかったものの、昨年度の公演収入を上回り計画以上の繰越金を確保できたこと、公演車・募金活動が後援会の力強い支援で推移していることなど、全社員が一丸となって事業を展開させてきた成果が報告されました。

第三号議案「二〇一八年度事業計画」では、昨期同様、特別事業を実施する提案がおこなわれました。その内容は・JR「四季島」ツアー客への演奏の継続実施。(再依頼)・復興支援―交流の集い「野田村公演」の計画の二つです。また、一般公演の新企画―女性ユニット「ひめこぶし」の世界への完成と普及。そして、地元での更なる活動も柱の一つに据えました。

第四号議案「二〇一八年度収支予算」は、公演車・募金活動の継続強化を図ること、本部会館の雪害に対する補修や維持管理等などについて話し合われました。

第五号議案「役員選出」では、前期同様の各メンバーが留任する案が提案されました。以上、全議案が承認されました。

《追記》社員加入の動き

・安藤良子(4月1日付)

続いて、「監査報告」が行われ、金城公雄・監事のこぶ

子どもたちの感想

児童・生徒向けの学校公演で出会う子ども達は、7歳から15歳迄におよび、地域や会場によっても様々な反応を返してくれます。たくさんの感想から、抜粋して紹介します。

〈二年生〉

・たいこがじょうずでした。またきたらみたいです。
・すごく歌やおどりがじょうずだった。
・あいなぬのうたをまたききたいです。

〈二年生〉

・たくさんべんきょうできて日本のれきしをされて、日本よさがわかったからお母さんやお父さんにおしえてあげたいなと思った。
・いろんながつきがあつてぼくもやってみたかった。
・おどつてみたかった。

〈三年生〉

・ししまいの動きがおもしろかった。
・おどつたり、歌つたりしてすごく楽しかったです。
・わたしも、げきだんをしてみたいです。

〈四年生〉

・うたやダンスなどを見ているとうきうきしてくるのでまたみたいです。
・声がとってもきれいでがっきもいろいろあつて楽しかった。
・もう一度みてみたいなあ

〈五年生〉

・音がきれいだし、声もとおくまでひびいていた。ムツクリやトンコリなどの音がきれいだった。ししまいがちよつとこわかつたけど楽しかった。
・みんなが楽しめるような工夫をしていて、ししまいもとても楽しかった。またやつてほしいと思った。

〈六年生〉

・アイヌの文化などくわしく話していて、聞きやすかつたし、もつとアイヌのことを知りたいと思つた。
・体験もできて、見ている方もたのしかつた。

〈六年生〉

・日本の伝統のすばらしさが伝わつた。
・かけ声や拍手が多くて、自分も参加している気持ちになれた。音楽にも迫力のあるものが多くてすごく楽しめた。

〈中学一年生〉

・芭蕉布の歌と歌詞がよくて沖繩にいきたいと思つた。
・笛のソロがすきとおつた、

キレイな音でやすらぎました。自分達の演奏をどうだろうと楽しそうに演奏しているすがたがとてもカッコ良くて、みないたいと思つました。

〈中学二年生〉

・あまり聴くことのない楽器の演奏を一時間ほど聴くことができて、わくわくが止まりませんでした。特に、アイヌの歌や踊りが一番楽しかつたです。初めてトンコリという楽器の演奏を聴いて「ギターやベースと全然違う!」とびっくりしました。他の演目もとてもよかつたです。また聴きたくなりました。

〈中学三年生〉

・アイヌ民族の歌や演奏など北海道に住んでいても知らないことばかりでした。勉強になつたし、伝統芸能についても興味が出てきました。今回のような貴重な体験ができたことをこれからの生活にいかして行こうと思つています。



いつも陽気な横田さん

特別公演のひとコマ

昨年からの依頼の地元・特養ホームに、女性メンバーでお邪魔してきました。施設で働く横田友美さんから、心のこもった温かいお便り(コメント)が届きましたので紹介します。

〈こぶし座の演奏で思うこと〉

こぶし座との出会いは高校時代で、きっかけは同じクラスの計良遠さんでした。彼女と友達になつたことで、ご両親が座員と知り、座とは現在も細長くですが(笑)おつきあいさせてもらっています。彼女の話ばかりで申し訳ありませんが、高校入学当初、私が感じた第一印象は、「これぞ!笑顔」と思う太陽みたいな笑顔でした。子どもの笑顔は素直です。その時々心の状態が笑顔に表れると思つています。あの、遠さんの笑顔の秘密は、こぶし座さんにあるのではないかなあと、座の演奏を観て感じていきます。「働く誇り、生きる喜び、明日への夢」…日常の些細な事を楽しみ感謝し、欲張り過ぎず、自分達が出来ることからコツコツと、一昔前の人達が当たり前としていた生き方が一つひとつの芸能となり、それらの芸能を各地へ伝え回っている「こぶし座」。

大切な気付きを感じさせて頂き、いつもありがとうございます。(ともみ)

北海道：駆けある記

公演準備部・唯一の専任担当である中尾雄児が全道各地を巡り、幾つもの出来事を持ち帰ります。道東地域「矢白別平和盆おどり」の様子です。



仮装姿で大盛り上がり!!
〈全国各地から450人が参加〉
(8月4~5日 開催)

この地を訪れる様々な方々と交流すると、人間らしく生きることを奪い続ける政権に、理屈ぬきにも腹が立つ。

* さて、いよいよ大会本番。松平晃氏のトランペット演奏を合図に花火が打ち上がる。かがり火が燃えさかり、「盆おどり」の始まりである。踊り手たちが心ひとつに櫓を囲む踊りの輪は、民族歌舞団花こまを核とした演奏団にリードされて、その熱を増していく。その後のステージ交流も実に楽しいもので、地元・合唱団「アンラコロ」のお馴染みの演奏をはじめ、バスをチャーターし参加した石狩実行委員会の朗読劇など、感動的な出し物が深夜にまで及んだ。道外からの参加者も多かったが、姫路・埼玉を始めとする「さくら合唱団」メンバーによる琴・三味線・笛の伴奏で歌った『新曲・さくら』は、これからの日本を自分たちの手で創りあげていこうとの決意に満ちあふれ、矢白別の運動を自らの地域の課題と結びつけ連帯を強め続けようとしている姿に共感した。

*

来年は55回大会である。私も新しい決意を持って、再び参加したいと思う。

＝公演等の計画＝ (8月～12月)

- 《一般公演》… “「ひめこぶし」の世界”
12月
1日(土) 共和町・生涯学習センター
- 《学校公演》
8月
23日(木) 幌加内町・全町小・中学校
30日(木) 東神楽町・全町小学校
9月
6日(木) 浜中町・全町小学校
12日(水) 函館市・高丘小学校
28日(金) 黒松内町・全町小・中学校
10月
1日(月) 積丹町・全町小学校
- 《保育園公演》
8月
29日(水) 函館市・亀田港保育園
9月
29日(土) 札幌市・澄川保育所
10月
3日(水) 函館市・人見認定こども園

- 31日(水) 札幌市・菊水上町保育園
11月
1日(木) 札幌市・風の子保育園
7日(木) 札幌市・白石うさこ保育園
7日(木) 札幌市・ぼぶら保育園
21日(水) 札幌市・北の星白石保育園
22日(木) 札幌市・しせいかん保育園
22日(木) 札幌市・くまの子保育園
- 《特別公演》
9月
19日(水) 養護老人ホーム「まろにえ」
22日(土) 北海道のうたごえ祭典
11月
10日(土) 高盛小学校・閉校式典
16日(金) 亀田農協 70周年記念行事
12月
4日(火) 今金農協
女性部 60周年記念行事
- ※ なお、札幌市内での一般公演も計画中です!!

《講座講習》…道南地域のみ記載

- 8月
18日(土) 檜山文化活動講座
20日(月) 亀田認定こども園
21日(火) 三育認定こども園
9月
3日(月) 亀田認定こども園
13日(木) 三育認定こども園
20日(木) アトリチ金堀小学校
26日(水) 三育認定こども園
10月
4日(木) アトリチ鱒川小学校
11月
9日(金) 人見認定こども園
14日(水) アトリチ神山小学校
15日(木) アトリチ中部小学校
12月
17日(月) 人見認定こども園
19日(水) アトリチ青柳中学校
20日(木) アトリチ石崎小学校
20日(木) アトリチ旭岡中学校

伝言板

《本部会館補修(補強)工事》

この間、私たちの活動拠点である「こぶし座本部」の修繕事業に取り組んで来ましたが、今年2月の大変な降雪により、本部棟の搬入口と住宅棟壁面に被害が及びました。いつもお世話になっている「マコト建設」の安藤さんに尽力願い、急ぎの復旧工事と今後の対策のための補強工事を実施しました。

全道・全国の皆さんからの力強いバックアップで支えられ運営している集団ですが、仲間たちの大切な財産である「こぶし座本部会館」を丁寧に維持・管理し、守り続けます。

《公演車・募金状況》

ご支援、ありがとうございます。

☆後援会を中心とした多くの支援…、みなさんの心を重ねて、全道各地を走行中!!

＜目標までの道のり＞
スタート ゴール

※完全走破に向けて、最後までガンバります!

※ 取組み初年度は、計画通りの目標達成できました。

「こぶし座後援会」への、ご入会をお願い致します!

= 機関紙をお読み頂いている皆さんにお願いです =
この団体は、「こぶし座を物心両面から支え励まし応援していこう…」という仲間達の集まりです。
現在、全国に700名もの会員がおり、座活動を支える大きな力となっています。
* 年会費は、2,000円/1口。(何口でも可)
～是非ご入会下さい!! お力添えをお願いします。～



補強工事中の「搬入口」の様子



修繕事業後の本部棟・西側壁面

「後援会総会」報告

役員交替を力に変え活動を前進させよう!!

第29回総会が5月13日、28名の参加で開かれました。冒頭、座の挨拶で「四季島」での演奏が今年も継続されることや、女性たちで創る舞台「ひめこぶし」の世界―新企画の立ち上げ、岩手県野田村公演の計画など嬉しいお知らせと、今年の大雪による雪害で会館・住居棟に被害があったことを報告すると「おー」「えー」と喜びと驚きの声が上がりました。

今年の方針は、公演活動の応援は勿論、会員・七百名の突破、公演車募金活動の継続…など「自分の周りで出来ることを実行しよう」と活発な話し合いがなされ、確認されました。また、役員選出では、11年間、副会長として尽力してくれた志賀松智恵美さんが交替し、板垣清さんが新しく副会長となりました。



挨拶する横井正人・理事長 (左は司会の橋本かおりさん)

編集後記

公演活動に追われ、準備が遅れていた機関紙ですが、何とか発行に漕ぎつけました。依頼していた原稿が届くたびに感動し励まされ、担当の計良も喜んでます。寄稿下さった方々には、日々感謝!の一言です。

こぶし座でもお盆休みが終わり、帰省したり遠出した座員も戻り、お茶を飲みながらのひと時…。故郷の話を聞きながら、生まれ育った地域の自然環境に身を置き、親・姉妹・家族とともに過ごす緩やかな時間に心を癒やされ、エネルギーを充填し、楽しんできた様子に、嬉れしさと喜びが湧いてきた。

「ぼー、ぼーっ」と、馬を呼ぶ姉の大きな声に反応して、遠くの丘に見えた小さな三頭の馬たちがゆっくりと歩き出し、姉の所に近づいて来て甘えるようにエサをねだっているの。出産間近の道産子は怖いくらい大きくなって興奮気味に話すひとみさん。十勝の奥地で農業を営み牛を飼い、馬を放牧して暮らしを立ててきたお姉さんの姿に胸打たれ、どれだけ励まされてきたのだろう…。

彼女の想いが伝わってきて私の胸も熱くなった。さあ、後半の活動が始まる。がんばらなくっちゃ!

(正子)